

International Society of Life Information Science (ISLIS)
国際生命情報科学会 (ISLIS) 編集・発行 創立 25 周年記念出版 単行本
「**潜在能力の科学 II** **Human Potential Science II**」

Online 版発行 初版 2020 年 3 月 13 日

Online 版 初版 に寄せて

山本 幹男 博士(医学)・博士(工学)
ISLIS 単行本編集委員長・理事長(元会長)

皆様の御蔭様で、当**国際生命情報科学会 (ISLIS)**は、幾多の困難を乗り越え、めでたくも本
2020 年に**創立 25 周年**を迎え、**ISLIS 創立 25 周年記念出版**として、ここに **Online 版**単行本
「**潜在能力の科学 II**」初版を、まず **ISLIS**のホームページ上に本日お約束通り公開発行する。

これは、丁度 16 年前の 2004 年 3 月 13 日初版 **ISLIS** 発行の単行本「**潜在能力の科学**」の改
訂版的なもので、その後の 近年の研究、活動・体験のまとめ、新たな会員プロフィール、資料編の
ISLIS 学会誌のその後の目次等、が新たに加わったが、かなりの部分は、2004 年版の転載となっ
ている。

印刷版は 2020 年 9 月 11-14 日の熱海での合宿形式の**記念すべき 第 50 回生命情報科学
シンポジウム**(学術大会等)の主催前に発行予定である。印刷版へ向けて、**Online 版**は、新たな原
稿等を多く取り入れて、改訂を重ね立派なものに仕上げたい。

このために、**皆様の積極的ご寄稿**をお願いしたい。少なくとも、**会員プロフィール**は**全会員に
ご提出**を頂きたい。

ISLISは 2020 年を**創立 25 周年記念年間**として、下記の様なこの分野にとって**大きな飛躍の
年**としようとしている。

ISLIS は、その兄弟組織でこの分野の幾多の研究成果を挙げてきた**国際総合研究機構 (IRI)**と
共に、(仮称) **IRI - 「潜在能力科学研究所」**を創立し、この分野の**世界一の研究所**に育てる計画
なので、記念行事と共に、**企画、構想、連携、研究者や多方面の人材の推薦等**で皆様のご協力を得
たい。

このために現本部にスペースを既に借増し、**IRI** スタッフの増員公募も進めている。また、千葉
市稲毛の現本部と同じ駅 JR 総武線 稲毛駅 東口 徒歩 5 分に確保済みの土地に、2021 年春竣
工を目指し新本部ビル建設を開始する。これは、地下 2 階、地上 3 階、屋上と 6 層建てとなってい
る。**本部・研究所・ホール・飲食サロン**等を含み、小規模であるが永らくの念願であった「**いや
しのビル**」の第一歩も踏み出せる。2021 年には、稲毛駅 東口 近辺に、現本部等も合わせ **100
名近くのスタッフ**を収容可能となる。

ISLIS の設立趣意は、物質中心の科学技術から、こころや精神を含んだ 21 世紀の科学技術へ
のパラダイム・シフト(枠組革新)を通じ、真理の追究と共に、人間の「潜在能力」の開花によ
り、健康、福祉、教育と社会および個人の幸福や心の豊かさを大きく増進させ、自然と調和した平
和な世界創りに寄与する事である。

ISLIS は 1995 年の創立来 24 年半、現在の科学知識の延長で説明が出来そうも無い不思議なところや精神を含んだスピリチュアル・ヒーリング、気功、潜在能力、超心理現象などの存在の科学的実証とその原理の解明を追求して来た。この間に**生命情報科学シンポジウム**を、海外での開催や 13 回の合宿形式を含め 49 回主催し、英文と和訳付の国際学会誌 *Journal of International Society of Life Information Science (J.Intl.Soc.Life Info.Sci. or Journal of ISLIS)* を年 2 号定期刊行し、総計 6,000 頁以上の学術論文と発表を掲載し続けてきた。

この間に、不思議現象の存在の科学的実証には多くの成果を挙げた。しかし、その原理の解明は世界的にもほとんど進んでいない。

本学会は現在、世界中の 11 カ所に情報センターを、15 カ国以上に会員を、擁している。

第 50 回シンポジウムは 2020 年 9 月 11-14 日(金-月)の合宿形式で熱海の「伊豆山研修センター」で「**全人的医療・科学の再考と新たな視点 II**」を主テーマとして掲げ主催予定で、**企画・セッション組織・演題募集中**である。

2004 年の単行本「**潜在能力の科学**」に、監修者代表として、「はじめに」を書いたが、今読み直しても、修正する必要が無いので、そのままこの後に転載する。他の、ご推薦文・ご寄稿文も、そのまま、転載させて頂いた。

これらの中には、下記の様に、既にご他界された方も 20 名以上と多い。

この間 ご逝去された方々

2004 年の単行本「**潜在能力の科学**」発行以降、これにご寄稿頂いたり、お名前が出ていらっしやる方々が、下記のように、20 名以上 ご他界され、誠に残念で、寂しい限りです。ここに、**本分野への多大なご貢献に深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈り致します。**

(2004 年の単行本「**潜在能力の科学**」 への登場順、敬称・肩書略)

山本幹男が把握している限りで、漏れ・誤りは、お教えてください nsnpoiri@gmail.com)

ご推薦文：岡崎 久彦, 野辺地 篤郎, 渡邊 日章, 土屋 喜一

「**潜在能力の科学**」の必要性：近藤 鉄雄, 鈴木 エドワード, 湯浅 泰雄

各グループの研究例：福田 信男, 町 好雄, 新田 和男

「**潜在能力の科学**」国際フォーラム 渥美 和彦, ロバート・モリス

ISLIS 顧問・役員・評議員・編集委員：稲葉 文男, 高良 和武, 関本 忠弘, 陳 信,

遠藤 俊吉, ケネス・サンシエ, 中沢 正治, 鳥居 鎮夫

IRI 役員・推進委員：淀川 英司